

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	41535	生活環境保全事務費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2172
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	1	保健衛生費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する
	目	5	生活環境費		施策	1	生活環境の保全
	根拠計画						
実施計画事業	公害防止対策事業、水質汚濁対策事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・公害の発生防止と、公害が発生した場合は被害を最小限に食い止める		
概要	事業の実施手法(手段)	・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査の実施と、騒音の定期観測調査の実施。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	・騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と騒音の観測調査の実施 ・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の啓発 ・マイマイガの生態を把握し、市民に周知するとともに、市有施設に付着した卵塊の駆除を実施。					
	指標名 単位 目標・実績 H24 H25 H26						
	活動指標	水質調査地点数	箇所	目標値	19	19	19
		算出根拠等		実績値	19	19	-
				達成率(%)	100	100	-
	活動指標	カワゲラウォッチングの開催数	回	目標値	1	1	1
		算出根拠等		実績値	1	1	-
				達成率(%)	100	100	-
	成果指標	カワゲラウォッチングの参加者数	人	目標値	60	60	60
		算出根拠等		実績値	73	60	-
				達成率(%)	122	100	-
	成果指標	騒音、振動、悪臭苦情の解決件数	回	目標値	41	62	-
		算出根拠等		実績値	37	58	-
				達成率(%)	90	94	-
				目標値			-
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A) 1,397	7,782	2,870		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			285	320		
	一般財源		1,397	7,497	2,550		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 15	84	31		
	受益者 市民(4月1日現在)		(B) 92,861	92,097	91,605		

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・公害防止に対する市民の意識は高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・騒音、振動、悪臭等各法令に基づくものであり、市が主体となる必要がある。 ・カワゲラウォッチングについて、県と市が双方で実施しているため実施の必要性の検討。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・公害苦情件数は、昨年と比べ1.5倍に増加しているが、長期化している案件以外はすべて解決している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・必要最小限の経費で取り組んでいる。 ・国等の補助対象事業ではない。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・長期継続している事業があり、課題である。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		7 / 10	→	100点換算 70 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)

・公害苦情の件数が増加傾向にある。特に水質汚濁に関する苦情件数が半数近くを占めていることから、水質(油漏れや水泡の発生)に係る啓発活動を実施する必要がある。  
・水質汚濁防止啓発活動のカワゲラウォッチングは、岐阜県と市の双方で実施している事業であることから実施の必要性の検討。

(参考) H25事業評価結果(二次評価)

・公害防止の効果的な啓発活動を実施すること、及び発生した公害をより迅速に、また、被害最小限となるよう関係機関との連携を強化する。  
・水質汚濁防止啓発活動と公害防止啓発を実施する。

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・公害防止に対する市民の意識向上のため、啓発を実施するとともに、公害苦情に対し、関係機関と連携し、適切な対応をとる。 ・水質汚濁防止啓発活動の実施。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・公害防止の効果的な啓発活動を実施すること、及び発生した公害をより迅速に、また、被害最小限となるよう関係機関との連携を強化する。 ・公害発生未然防止啓発活動を強化する。 ・長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42200	ごみ収集事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	2	収集処理業務の効率化
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業		ごみ収集事業					
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施する。 ・不適正処理(不法投棄、違反ごみ等)対策を実施する。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬 ・ごみステーション違反ごみの回収 ・不法投棄対策(パトロール、通報による出動等)の実施					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	ステーションごみ収集日数	日	目標値	256	257	258
		実績値	256	257	-		
		算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	-
	活動指標	不法投棄監視パトロール日数	日	目標値	50	20	20
		実績値	70	30	-		
		算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	140	150	-
	成果指標	家庭系一般廃棄物収集量	t	目標値	18,370	18,336	18,306
		実績値	18,543	18,491	-		
		算出根拠等	計量統計	達成率(%)	101	101	-
	成果指標	ごみの分け方・出し方の啓発	回	目標値	12	12	12
		実績値	14	10	-		
		算出根拠等		達成率(%)	117	83	-
				目標値			
			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等							
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A)	268,595	268,904	284,200	
	受益者負担(使用料・負担金等)			7,431	6,706	6,340	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			261,164	262,198	277,860	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,892	2,920	3,102	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・ごみの収集は、日常生活において必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・一般廃棄物の処理責任が市にあることから、市が事業主体となって実施する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・効率よく収集するため市内ごみステーションの収集品目のカレンダーを作成している。 ・不適正処理は依然として発生している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・収集運搬の委託化により事業の効率化を図っている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・違反ごみシールの貼付やごみの分け方・出し方の啓発、不法投棄/パトロール等により不適正処理対策を実施した結果、発生量は減少傾向にあるが、まだ不適正な処理が認められる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続し実施する必要がある。
---------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・ごみの分別と収集方法の検討
----------------------	----------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・委託事業者収集時のパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止の実施。 ・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方を周知啓発の実施。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・不適正処理の防止啓発の継続実施と、ごみの分別と収集方法の見直しを検討する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42205	ごみ焼却処理事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	2	収集処理業務の効率化
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	ごみ焼却事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	安全で適正なごみ焼却処理の実施。		
概要	事業の実施手法(手段)	ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	ごみの焼却処理及び維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター) 設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を実施 荒城クリーンセンター焼却施設の解体と廃止					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)	日	目標値	341	331	335
				実績値	342	336	-
				算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100
	活動指標	ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)	日	目標値	100	80	80
				実績値	115	85	-
				算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	115
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/m <sup>3</sup>	目標値	1	1	1
				実績値	0.16	0.0054	-
				算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	-
	成果指標	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m <sup>3</sup>	目標値	5	5	5
				実績値	0.24	0.04	-
				算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)	-
				目標値			
			実績値				
			算出根拠等				
			目標値				
			実績値				
			算出根拠等				
補足事項							
ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A)	73,272	170,009	148,407	
	受益者負担(使用料・負担金等)			70,708	67,991	66,970	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			2,564	42,384	12,000	
	一般財源				59,634	69,437	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	789	1,846	1,620	
	受益者 市民(4月1日現在)		(B)	92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	ごみの焼却処理は、日常生活において必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。
		B (1)	ある程度のニーズがある		
		C (0)	ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	一般廃棄物の処理責任が市にあり市の施設であることから、市が事業主体となって実施する必要がある。
		B (1)	一部見直しが必要である		
		C (0)	市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	A	廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしている。 処理能力を維持し適正に焼却を行っている。
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	職員で対応可能な点検整備は直営で行うことによりコスト削減を図っている。 焼却ごみ量に応じ2つの焼却施設の効率的な運転を行う。
		B (1)	事業効率化・コスト縮減がある程度図られている		
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	可燃性の粗大ごみは破碎して焼却処理を行っている。 焼却施設の適正な維持管理による施設の延命化が必要。
		B (1)	ある程度効果があった		
		C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・老朽化した焼却施設の能力の維持と延命化の必要がある。
---------------------------------------	-----------------------------

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト削減を進める必要がある。
----------------------	-----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・老朽化した焼却施設の安全な運転と維持管理を実施する。
-----------------	-----------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H26完了予定
	・老朽化した焼却施設の安全な運転と維持管理を実施する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42210	ごみ埋立処理事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	2	収集処理業務の効率化
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	ごみ埋立処理事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止による安全な埋立処理		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の埋立処理事業を実施する</li> <li>・汚水処理施設の維持管理を実施する</li> </ul>		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施</li> <li>・設備の点検及びダイオキシン濃度等の調査を実施</li> </ul>																																																																																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">埋立作業日数</td> <td>目標値</td> <td>308</td> <td>309</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>308</td> <td>309</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ごみ処理基本計画</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理水)</td> <td>目標値</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ダイオキシン測定結果</td> <td>実績値</td> <td>0.0045</td> <td>0.0057</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ダイオキシン測定結果</td> <td>目標値</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>0.0200</td> <td>0.0047</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ダイオキシン測定結果</td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立地処理水)</td> <td>目標値</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ダイオキシン測定結果</td> <td>実績値</td> <td>0.0180</td> <td>0.0000</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ダイオキシン測定結果</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ダイオキシン測定結果</td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">ダイオキシン測定結果</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="5">補足事項</td> </tr> <tr> <td colspan="5">ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コスト面</td> <td colspan="2">事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)</td> <td>H24 決算額</td> <td>H25 決算額</td> <td>H26 予算額</td> </tr> <tr> <td colspan="2">歳出(千円)</td> <td>(A) 40,214</td> <td>38,042</td> <td>45,040</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担(使用料・負担金等)</td> <td>40,083</td> <td>37,937</td> <td>36,220</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他特定財源(国・県支出金・起債等)</td> <td>131</td> <td>105</td> <td>611</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td></td> <td></td> <td>8,209</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コスト指標</td> <td colspan="2">受益者1件当たり(円)</td> <td>(A/B) 433</td> <td>413</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者 市民(4月1日現在)</td> <td>(B) 92,861</td> <td>92,097</td> <td>91,605</td> </tr> </tbody></table>					指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	活動指標	埋立作業日数	目標値	308	309	309	実績値	308	309	-	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	-	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理水)	目標値	10	10	10	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	実績値	0.0045	0.0057	-	達成率(%)			-	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	目標値	10	10	10	実績値	0.0200	0.0047	-	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)			-	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立地処理水)	目標値	10	10	10	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	実績値	0.0180	0.0000	-	達成率(%)			-	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	目標値			-	実績値			-	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)			-	目標値			-	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	実績値			-	達成率(%)			-	補足事項					ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。					コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	歳出(千円)		(A) 40,214	38,042	45,040	受益者負担(使用料・負担金等)		40,083	37,937	36,220	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		131	105	611	一般財源				8,209	コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 433	413	492	受益者 市民(4月1日現在)		(B) 92,861	92,097	91,605
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26																																																																																																																																																								
	活動指標	埋立作業日数	目標値	308	309	309																																																																																																																																																								
			実績値	308	309	-																																																																																																																																																								
	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	100	-																																																																																																																																																							
				ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立地処理水)	目標値	10	10	10																																																																																																																																																						
	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	実績値	0.0045	0.0057	-																																																																																																																																																							
				達成率(%)			-																																																																																																																																																							
	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	目標値	10	10	10																																																																																																																																																							
				実績値	0.0200	0.0047	-																																																																																																																																																							
	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)			-																																																																																																																																																							
				ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立地処理水)	目標値	10	10	10																																																																																																																																																						
	成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	実績値	0.0180	0.0000	-																																																																																																																																																							
				達成率(%)			-																																																																																																																																																							
成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	目標値			-																																																																																																																																																								
			実績値			-																																																																																																																																																								
成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)			-																																																																																																																																																								
			目標値			-																																																																																																																																																								
成果指標	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	実績値			-																																																																																																																																																								
			達成率(%)			-																																																																																																																																																								
補足事項																																																																																																																																																														
ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。																																																																																																																																																														
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額																																																																																																																																																									
	歳出(千円)		(A) 40,214	38,042	45,040																																																																																																																																																									
	受益者負担(使用料・負担金等)		40,083	37,937	36,220																																																																																																																																																									
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		131	105	611																																																																																																																																																									
	一般財源				8,209																																																																																																																																																									
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 433	413	492																																																																																																																																																									
	受益者 市民(4月1日現在)		(B) 92,861	92,097	91,605																																																																																																																																																									

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・ごみの埋立処理は、日常生活において必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・一般廃棄物の処理責任が市にあり市の施設であることから、市が事業主体となって実施する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしている。 ・可燃性粗大ごみの破砕焼却により、埋立量の減量を行っている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・汚水処理施設の軽微な点検整備は職員が行い、委託費のコスト縮減を図っている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・破砕機の効率的な稼働により埋立容積の削減を図った。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		9 / 10	→	100点換算 90 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・埋立処理地浸出水の適正な処理と、埋立処分地の延命化が必要。
---------------------------------------	--------------------------------

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・引き続き適正な維持管理を行いつつ、コスト縮減を進める必要がある。
----------------------	-----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理の実施。</li> <li>・事業者に対する埋立てごみの搬入制限や破砕機による可燃性粗大ごみの焼却処理により埋立ごみを減量し、埋立てするごみは破砕機で細分化し十分な転圧を行う。</li> </ul>
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理の実施。</li> <li>・事業者に対する埋立てごみの搬入制限や破砕機による可燃性粗大ごみの焼却処理により埋立ごみを減量し、埋立てするごみは破砕機で細分化し十分な転圧を行う。</li> </ul>				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42215	ごみ減量化推進事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線
	種別					2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6 環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2 資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	1 ごみの減量化や資源化
根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	ごみ減量化意識高揚事業、生ごみ堆肥化装置設置事業補助					
市長公約						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605
	どういう状態にしたいのか(意図)	・家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。		
概要	事業の実手法(手段)	・ごみ処理券回収奨励金の交付 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の交付 ・ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	ごみ処理券回収奨励金の交付 ・生ごみ堆肥化装置設置補助の交付 ・ごみの出し方と分別、及び資源化の啓発					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	ごみ処理券回収実施団体数	団体	目標値	70	70	70
				実績値	67	64	-
	算出根拠等			達成率(%)	96	91	-
	成果指標	ごみ処理券回収枚数	枚	目標値	300,000	300,000	300,000
				実績値	365,780	345,053	-
	算出根拠等			達成率(%)	122	115	-
	成果指標	生ごみたい肥化装置設置補助件数	件	目標値	74	74	74
				実績値	20	12	-
	算出根拠等			達成率(%)	27	16	-
	成果指標	家庭系一般廃棄物収集量、目標値に対する増減	t	目標値	18,302	18,286	18,237
				実績値	18,543	18,491	-
	算出根拠等		ごみ処理基本計画	達成率(%)	101	101	-
	成果指標	家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	g	目標値	468	467	466
実績値				461	470	-	
算出根拠等		ごみ処理基本計画	達成率(%)	99	101	-	
			目標値				
			実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A)	11,820	11,894	13,850	
	受益者負担(使用料・負担金等)			11,536	11,593	13,660	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			284	301	190	
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	127	129	151	
	受益者		(B)	92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・日常生活におけるごみの減量化は必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・国の循環型社会形成に向けたごみの抑制や循環資源の施策の実施は市に責務があることから、市の事業主体を見直す余地はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・市の家庭ごみの1人1日当たりごみの排出量は国の平均値より低いものの、近年ほぼ横ばいの数値となっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・手数料等で事業を実施している。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・家庭ごみの収集量や1人1日当たりの排出量がほぼ横ばいにあるが、循環型社会の形成に向けごみの減量化に取り組んでいる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・生ごみ堆肥化装置設置補助件数が減少しているため、装置の効果を啓発することが必要である。 ・家庭ごみの収集量などが減少しないため、減量に繋がる分け方・出し方に対する啓発が必要である。
--	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・家庭系一般廃棄物量が増加傾向にあることから、ごみの排出の現状を分析し今後の対応に繋げていく必要がある。
----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・ごみの減量化のため広報などによりごみの分け方の啓発を行う。
-----------------	--------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・ごみの減量化に繋がる啓発と、ごみシール制の見直しの検討。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42220	ごみ資源化推進事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	1	ごみの減量化や資源化
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	ごみ減量化意識高揚事業、ごみ再資源化事業、ごみ処理施設維持修繕事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605
	どういう状態にしたいのか(意図)	・資源の循環により循環型社会の形成を図る		
概要	事業の実手法(手段)	・容器包装及びその他資源化できるごみの集団回収への奨励 ・資源ごみの収集運搬選別及び容器リサイクル施設での選別		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	・小型家電の回収を試行(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンターへの持ち込み回収) ・ごみ選別委託、拠点集積所管理の委託 ・資源回収事業での奨励金 85団体					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	拠点集積所での回収日	日	目標値	52	52	52
				実績値	52	52	-
	成果指標	算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	100	100	-
				目標値	2,644	2,639	2,635
	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績値	2,317	2,102	-
				達成率(%)	88	80	-
	成果指標	拠点集積所での回収量	t	目標値	2,472	2,468	2,463
				実績値	1,808	1,592	-
	成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	73	65	-
				目標値	3,741	3,729	3,719
	成果指標	資源ごみ資源化量	t	実績値	3,289	3,239	-
				達成率(%)	88	87	-
	成果指標	資源ごみ資源化率	%	目標値	27.9	28.0	28.1
実績値				23.3	21.9	-	
成果指標	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	84	78	-	
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A)	96,669	108,161	110,300	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			25,277	28,147	15,840	
	一般財源			71,392	80,014	94,460	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,041	1,174	1,204	
	受益者		(B)	92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・日常生活から排出される資源の再生利用は、必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・一般廃棄物の処理責任と、国の循環型社会形成に向けたごみの抑制や循環資源の施策の実施は市に責務があり、事業主体を見直す余地はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・資源となるペットボトル等の容器の軽量化などにより資源化量は減少しているが、回収した資源の循環を適正に実施している。 ・民間活力により資源化事業が実施されている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・資源ごみ収集運搬、資源ごみ拠点集積所回収及び資源ごみ選別保管を全面委託しており、コスト縮減を図っている。 ・有価物(アルミ缶、スチール缶、小型家電、鉄類)を売却することで、財源の確保に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・資源化量は横ばい傾向にあるが、循環型社会の形成に向けて資源回収し資源化を行っている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・集団資源回収量や資源化率が減少しているため、小型家電の分別収集を含め資源の再生利用の啓発を継続して実施する必要がある。
---------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・新たに小型家電の資源化の実施と、市民、集団資源回収団体への啓発を実施するなど、更に資源化意識の高揚及び資源化を図る。
----------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・小型家電の全品目の分別収集や資源の再生利用、有効利用のための分別の啓発を実施する。 ・不燃ごみから鉄類など選別し資源化を徹底する。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・小型家電の全品目の分別収集や資源の再生利用、有効利用のための分別の啓発を実施する。 ・不燃ごみから鉄類などを選別し資源化を徹底する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42225	ごみ焼却施設保守事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	2-3	収集処理業務の効率化・焼却施設の整備
根拠計画	ごみ処理基本計画						
実施計画事業	ごみ焼却処理事業、焼却処理施設整備事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	焼却施設の保守点検及び設備の更新等適正に維持管理を行い安全に稼働させる。		
概要	事業の実施手法(手段)	・長期修繕計画に基づき、資源リサイクルセンター及び久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備を実施する		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	資源リサイクルセンターごみ焼却施設の定期点検整備の実施 久々野クリーンセンターごみ焼却施設の定期点検整備の実施					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)	日	目標値	341	331	335
				実績値	342	336	-
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	102	-	
	活動指標	ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)	日	目標値	100	80	80
				実績値	115	85	-
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	115	106	-	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス)	ng/m <sup>3</sup>	目標値	1	1	1
				実績値	0.16	0.0054	-
	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)			-	
	成果指標	ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス)	ng/m <sup>3</sup>	目標値	5	5	5
				実績値	0.24	0.04	-
	算出根拠等	ダイオキシン測定結果	達成率(%)			-	
				目標値			
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足事項							
ダイオキシン類濃度の目標値欄に記載されている数字は基準値であり、基準値以下を達成しなければならない。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A) 114,022	113,515	115,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		114,022	113,515	115,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 1,228	1,233	1,255		
	受益者		(B) 92,861	92,097	91,605		

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・ごみ処理は日常生活において必要不可欠なものであり、ごみ処理施設の維持管理は市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・焼却施設は行政財産であり事業主体を見直す余地はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・保守点検を定期的に行ったことにより、ごみの焼却施設を適正に維持管理している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・長期修繕計画により計画的に修繕を行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・定期点検整備により安全に維持管理されている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・老朽化した施設の安全な稼働を維持する必要がある。
---------------------------------------	---------------------------

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・焼却施設の定期点検整備を引き続き行うことにより、適正な維持管理に取り組む。
----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・老朽化した施設の安全な稼働のため、法定点検の実施と定期点検整備を実施する。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・老朽化した施設の安全な稼働のため、法定点検の実施と定期点検整備を実施する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42235	清掃関係事務費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2172
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策		
	目	2	塵芥処理費		施策		
根拠計画							
実施計画事業							
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605
	どういった状態にしたいのか(意図)	・ごみ処理施設への不法侵入防止と適正な料金システムの維持管理		
概要	事業の実施手法(手段)	・資源リサイクルセンターの夜間警備委託の実施 ・料金徴収システムの保守点検業務の実施		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	・資源リサイクルセンターの夜間警備委託の実施 ・料金徴収システムの保守点検業務の実施					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	資源リサイクルセンター夜間警備委託の実施	月	目標値	12	12	12
				実績値	12	12	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	活動指標	料金徴収システムの保守点検実施回数	回	目標値	2	2	2
				実績値	2	2	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	100
	成果面			目標値			
				実績値			-
				算出根拠等	達成率(%)		
	成果面			目標値			
				実績値			-
				算出根拠等	達成率(%)		
	成果面			目標値			
実績値						-	
算出根拠等				達成率(%)			-
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A) 7,666	10,092	11,193		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		5	2	10		
	一般財源		7,661	10,090	11,183		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 83	110	122		
	受益者		(B) 92,861	92,097	91,605		

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	・内部事務のため
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	・内部事務のため
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	・内部事務のため
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価対象外	・内部事務のため
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	・内部事務のため
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外	点
----	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・ごみ処理施設の夜間警備を行い安全な管理と、料金徴収システムを正常運用するため適正な維持管理を実施する。
----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・料金徴収システムの正常稼働のため、システム及び機器類の保守点検を行う。 ・収納管理の効率化のため、総合行政システムへの移行を検討する。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・施設の夜間警備と、料金徴収システムの保守点検と運用を行う。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42250	粗大ごみ再利用化事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	1	ごみの減量化や資源化
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	ごみ再資源化事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605
	どういった状態にしたいのか(意図)	・排出された粗大ごみを再利用しごみの減量化を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	・粗大ごみのリフォーム ・リフォームフェアの開催		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	・リフォーム製品フェアの開催(支所開催含む) 19回					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	リフォームフェア開催回数	回	目標値	20	20	20
				実績値	20	19	-
				算出根拠等	達成率(%)	100	95
	活動指標	リフォームフェア応募者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000
				実績値	1,637	1,625	-
				算出根拠等	達成率(%)	55	54
	成果指標	リフォームフェア販売個数	個	目標値	600	600	600
				実績値	465	510	-
				算出根拠等	達成率(%)	78	85
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	算出根拠等			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A)	3,608	3,587	3,910	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			249	312	720	
	一般財源			3,359	3,275	3,190	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A./B)	39	39	43	
	受益者		(B)	92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・日常生活から排出される粗大ごみの有効利用は、必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・一般廃棄物の処理責任と、国の循環型社会形成に向けたごみの抑制や循環資源の施策の実施は市に責務があり、事業主体を見直す余地はない。	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・リフォームの販売個数は目標に達していないが増加傾向にあり、ある程度は成果が上がっている。	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・リフォーム製品の整備及びフェアの開催では、委託化及び貴金職員の雇用によりコスト削減を図っている。 ・リフォーム製品を有償で売却し財源の確保に努めている。	
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・循環型社会の形成に向けた市民への啓発事業として、ある程度の効果があった。	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		6 / 10	→	100点換算	60 点

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なかを記入)

・排出されたごみからのリフォームは種類、数量に限りがあるため拡大する必要がある。  
・粗大ごみとならないよう、再利用や有効利用を啓発する必要がある。

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)

・全支所地域でリフォーム製品フェアを開催し事業活動を広めてゆくとともに、「おもちゃ病院」と協同開催することにより、再利用製品の品種を増やし利用者の拡大を図る。

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況

・全支所地域でリフォーム製品フェアを開催し事業活動を広めてゆくとともに、本庁などで事前に見本展示することにより再使用の啓発を強化する。  
・ボランティア団体の支援によりリフォーム製品を増やし利用者の拡大を図る。

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H26完了予定
	・全支所地域でリフォーム製品フェアを開催し事業活動を広めてゆくとともに、本庁などで事前に見本展示することにより再使用の啓発を強化する。 ・ボランティア団体の支援によりリフォーム製品を増やし利用者の拡大を図る。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42255	発泡スチロール再資源化事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	1	ごみの減量化や資源化
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	ごみ再資源化事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605
	どういう状態にしたいのか(意図)	発泡スチロールの再資源化		
概要	事業の実施手法(手段)	発泡スチロールの資源ごみを収集運搬し、減容機で中間処理して再資源化を行う		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	発泡スチロールの収集運搬、減容委託					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	発泡スチロールの回収日数	日	目標値	360	360	361
				実績値	360	360	-
				算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	100
	活動指標	発泡スチロール収集搬入量	t	目標値	11	11	13
				実績値	14	12	-
				算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	127
	成果指標	発泡スチロール資源化量	t	目標値	11	11	13
				実績値	14	13	-
				算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	127
				目標値			
				実績値			
				算出根拠等			
				達成率(%)			
			目標値				
			実績値				
			算出根拠等				
			達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A)	2,669	2,705	3,080	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			1,195			
	一般財源			1,474	2,705	3,080	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	29	29	34	
	受益者		(B)	92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・日常生活から排出される資源の再生利用は、必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・一般廃棄物の処理責任と、国の循環型社会形成に向けたごみの抑制や循環資源の施策の実施は市に責務があり、事業主体を見直す余地はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・収集量、資源化量とも目標値を上回り成果が上がっている。 ・一部プラスチック製容器包装への混入がみられる。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・収集運搬、資源化業務を全面委託しコスト縮減を図っている。 ・減容した製品を有償で売却し財源の確保に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・発泡スチロールは軽量のため量的に少なく資源化率向上に反映されないが、循環型社会形成に向け資源の循環を行っている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・プラスチック製容器包装に発泡スチロールが一部混入してされているため啓発が必要。
---------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・引き続き、発泡スチロールの資源化啓発を継続し、資源化によるごみの減量化を図る。
----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・発泡スチロール再資源化のため、さらに分け方と出し方を啓発し意識高揚を図る。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H26完了予定
	・発泡スチロール再資源化のため、さらに分け方と出し方を啓発し意識高揚を図る。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42260	容器包装廃棄物再資源化事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環型社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	1	ごみの減量化や資源化
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	ごみ再資源化事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605
	どういう状態にしたいのか(意図)	・プラスチック製・紙製容器包装の再資源化		
概要	事業の実施手法(手段)	・プラスチック製・紙製容器包装の排出者による分別と市による選別及び圧縮し資源化を行う。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	・プラスチック製容器包装、紙製容器包装の再資源化委託					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	プラスチック製容器包装収集及び回収日数	日	目標値	308	308	309
				実績値	308	308	-
				算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	100
	活動指標	紙製容器包装収集及び回収日数	日	目標値	308	308	309
				実績値	308	308	-
				算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	100
	成果指標	プラスチック製容器包装収集量	t	目標値	651	652	620
				実績値	685	671	-
				算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	105
	成果指標	紙製容器包装収集量	t	目標値	622	623	544
				実績値	606	591	-
				算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	97
	成果指標	プラスチック製容器包装資源化量	t	目標値	651	652	620
実績値				629	609	-	
算出根拠等				分別収集計画	達成率(%)	97	93
成果指標	紙製容器包装資源化量	t	目標値	622	623	544	
			実績値	573	554	-	
			算出根拠等	分別収集計画	達成率(%)	92	89
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出(千円)		(A)	43,343	42,406	52,400	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			43,343	42,406	52,400	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	467	460	572	
	受益者		(B)	92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・日常生活から排出される資源の再生利用は、必要不可欠なものであり市民ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・一般廃棄物の処理と、国の循環型社会形成に向けたごみの抑制や循環資源の施策の実施は市に責務があり、事業主体を見直す余地はない。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・収集量に対し資源化量が低い。 ・一部他のごみの混入がある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・容器包装の選別資源化を全面委託化し、コスト縮減を図っている。 ・容器包装廃棄物を売却することで、財源の確保に努めている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・収集量の一部他のごみなどの混入もあるが選別し循環型社会形成に向け資源の循環を行っている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを何が必要なのかを記入)	・プラスチック製容器包装や紙製容器包装に発泡スチロールのトレイなどが分別されず混入していることがあるため、継続した分別の啓発が必要。
--	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・引き続き、収集運搬された容器包装の適正な再商品化を継続し、ごみの減量化を図る。
----------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・資源の再生利用のため分別を啓発し適正な資源化を行う。
-----------------	-----------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	・資源の再生利用のため分別を啓発し適正な資源化を行う。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

# 平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名	42280	ごみ処理施設建設事業費		担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	4	衛生費		分野	6	環境・衛生
	項	2	清掃費		基本施策	2	資源循環社会の実現を図る
	目	2	塵芥処理費		施策	3	新焼却施設の整備
	根拠計画	ごみ処理基本計画					
実施計画事業	焼却処理施設整備事業						
市長公約							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	新ごみ処理施設を建設する。		
概要	事業の実施手法(手段)	建設候補地の決定後、地質調査・環境影響調査業務、建設検討委員会の設置及び各種手続き等を経て、新ごみ焼却施設を建設する。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績	新ごみ処理施設候補地選定 新ごみ処理施設に関する地元説明会開催(H26.1月~2月)				
	指標名					
		単位	目標・実績	H24	H25	H26
			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
補足事項						
事業予定・候補地の決定・地元説明・検討委員会の設置・測量						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出(千円)		(A) 3,455	0	5,410	
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		3,455	0	5,410	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 37	0	59	
	受益者		(B) 92,861	92,097	91,605	

## 3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	現有施設は、供用開始後28年経過し老朽化しているため、新ごみ処理施設の建設は市民にとって必要性の高い事業である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	一般廃棄物の処理責任は市にあることから、市が事業主体となって実施することが必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	建設候補地の選定、公表及び地元説明会を実施した。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価対象外	(平成25年度予算執行せず)
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	候補地の選定、地元説明会の開催により事業が前進している。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	6 / 8	→	100点換算	75 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・現有施設が老朽化しているため、新施設を早期に建設する必要がある。
---------------------------------------	-----------------------------------

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・新ごみ処理施設建設に向けて、環境影響調査並びに発注準備を継続する。
----------------------	------------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	地元の同意を得られるよう、地元説明会を継続して開催する。
-----------------	------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・地元住民の理解を得た上で、新ごみ処理施設建設を進める。								

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	(担当課評価に同じ)								